

高齢者向けエコ交通出前教室の開発

豊田市都市整備部交通政策課 堂山誠也、鈴木愛美
大同大学 樋口恵一
公益財団法人豊田都市交通研究所 ○加藤透

1. はじめに

愛知県豊田市ではTDM施策として、産官学共働の「**豊田エコ交通をすすめる会**」による全市的なエコ交通普及活動を展開

- 2008年～ すずめる会が発足し会員事業所従業員の「エコ通勤」を推進
- 2013年～ 一般市民への「エコ交通」普及も含めたエコ交通月間を実施
- 2016年 ⇒ 一定の成果を得て、更なるエコ交通活動普及に向けた取組を検討するため4年で終了
- 2015年～ (a)短期的なエコ交通転換(児童から保護者へ働きかけ)、
(b)長期的なエコ交通意識醸成を目的とした小学生向けエコ交通出前教室を開催(図1参照)
- 2016年～ エコ交通転換を目的とした**高齢者向けエコ交通出前教室**を企画・開催



図1. 小学生向け出前教室の様子('15)



図2. 小学生向け出前教室資料

2. 高齢者向けエコ交通出前教室

(1) 出前教室の開発趣旨・内容

<趣旨>

自動車を利用している高齢者はバスの乗車経験が少ないと予想
⇒日常生活、運転免許返納後のバス利用を促進するため
バス情報提供を試行及び高齢者に合った情報提供方法を検討
(バスサービスレベルの異なる都市部と山間部に分けて実施)

<内容>

- ①交通政策(公共交通、福祉交通)の説明
- ②既存ツール(バスマップ:路線図、バスガイドブック:時刻表等)の周知
⇒使いやすさ、認知度の把握
- ③新たな情報ツール(マイ時刻表等)の試行

(2) 都市部高齢者団体(五ヶ丘:豊五会23人)

面積:1.29km²、人口:6,339人('15)、路線バス:平日上り42本/日(豊田市駅まで約25分)

公共交通の必要性、使い方を説明後、指導員4人がマイ時刻表作成を指導

時間	項目	担当	資料
3分	あいさつ	-	-
15分	公共交通 バスマップ等	都交研	紙面資料
30分	マイ時刻表 (作成作業)	中京大	バスガイドブック等
10分	アンケート	中京大	-
2分	あいさつ	-	-



図4. 高齢者向け出前教室のカリキュラムと様子(五ヶ丘)

(3) 山間部高齢者団体(小渡町:けんき会14人)

面積:3.37km²、人口:236人('15)、路線バス:平日上り12本/日(豊田市駅まで約75分)

マイ時刻表作成をやめバス乗降方法やICカードによる支払い方法を詳細説明 ⇒ バスに興味を持った2人がICカードを購入しバス利用を促進

時間	項目	担当	資料
3分	あいさつ	-	-
25分	公共交通	都交研	説明資料
15分	バス乗降方法	都交研	バスマップ バスガイドブック
10分	アンケート	中京大	-
2分	あいさつ	-	-



図6. 高齢者向け出前教室のカリキュラムと様子(小渡町)

(4) アンケート結果

バス利用経験の多い都市部では、バスマップ等が「使いやすい」方が60%以上あり、出前教室への肯定的感想が95%

バス利用経験の少ない山間部では、バスマップ等を「持っている」「見たことがある」方が50%ほどだが、出前教室への肯定的感想が100%

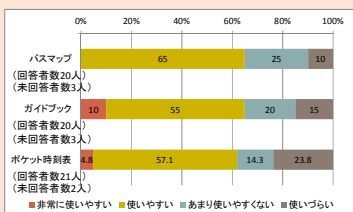


図8. 資料の使いやすさ(都市部)

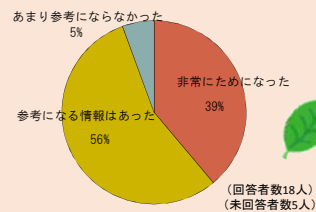


図9. 出前教室の感想(都市部)

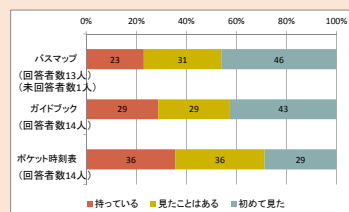


図10. 資料の認知度(山間部)

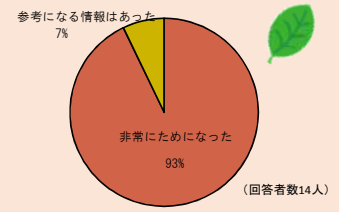


図11. 出前教室の感想(山間部)

(5) 課題と今後の進め方

①説明内容については更なる改善が必要(バスの乗り方が有効) ⇒ 実車を使ったバスの乗り方教室(試乗)の織り込みを検討

②高齢者団体への広報方法が未定 ⇒ 豊田市広報誌への掲載、高齢者団体連合会への案内を検討

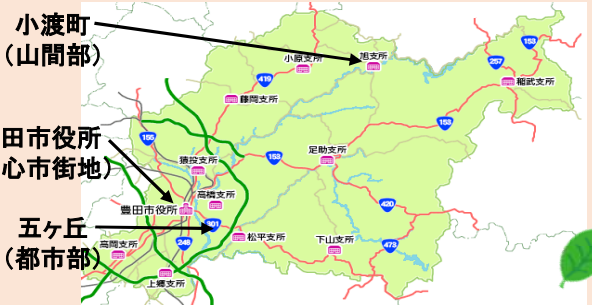


図3. 出前教室開催地域



図5. マイ時刻表記入例



【問題点】

バスマップ、バスガイドブックから
所定のバス(バス停、時刻)を抜き
出すことは、高齢者にとって困難
また、日常的にバスを利用している
方はバス停、時刻を既知(メモ)



図7. バス乗降方法

